

俳句

新年雑詠 土倉 寛
年賀状はじめてはつた版畫
吹き竹を母へ届ける初かま

生活と健康

小出一平
その一つとして乳幼児期の骨格發育障害といふことが考えられる。

万年床・箱膳
万年床と箱膳は表題の様に並記されて問題にされて

短歌

新年雑詠 土倉 山田利一
お一日先生に聞いて暖爐たきまわりで子等はカルタと

年賀交換会

公民館では村と共催で新生活運動の一環として今年

詩壇

土倉 粕谷セツ子
姉がぬつて下さつた春着
すこしじみな春着

赤ちやん

一位小林豊ちやん
公民館では数年来村の國保と共催で育児の検査を行



発行所 館 所 民 館 中 里 村 公 所 社 中 里 印 刷 十 日 町 新 開 社

年頭に当って

村長 渡辺利三

中里村として初めての意義ある新年を迎えまして、御同慶に耐えませぬ。

年頭所感

永井順平

昭和三十年におきましては、幸い豊作にめぐまれた

新年は過去一年又は数年或は数十年のそれを経験した事象に對しなほ進歩的

この三村の合併がなつたとき、この偉業を完成する

焦点

今年こそ懸案の中部合併を完成せしめなければならぬ。



児童体位の現況と

その問題点について

田澤小學校の児童が、他の學校の児童に比して、背が低いという問題が、昨年度學校保健委員会の協議題になつてから、今日迄學校ではその不振の原因を發見するべく、色々の保健實態調査をしてきた。それをもとにして去る十二月十六日學校醫と村保健係の御參集を願ひ、學校保健委員會を開き、児童体位について不振の原因と、その對策について話し合ひをした。

(1)体位の現況について
身長は他校、縣平均に比して、各學年とも劣つてゐる。特に女子に差がある。体重は身長程差はないが、やはり少い。胸圍、座高も男女共に平均を下まわつてゐる。即ち學年の差はあつても、全學年を通じて体格が悪い。特に低學年が劣つてゐる様である。尙且方は割にあるが、背が低いことが目立つ。

(2)体位不振の原因について
特に田澤の子供が体格の悪い特殊な原因については、これという明確な線はわからないが、調査の結果一年生から体位が低いこと

派出へ来て

六年 小林克子

今年も寒い冬がやつて来た。私達の所では學藝會も過ぎた十二月一日に、西方の學校で今年度の派出の開所式を行いました。それからしばらくの間、角間の學校で勉強してまいりましたが、雪が三センチも積りましたので、いよいよ西方の學校で勉強することにになりました。土曜日の午後、家へ歸つて「來週から西方の學校だ」といつたら父は「そうか、そうか、村の學校に近いのだから一生懸命勉強しなさい」といひました。私はもう來週から雪の中を角間まで通わなくともいいのだと思つた。しかし西方の學校は一年生から六年生まで一緒に一つの教室で勉強するのだから、ほかの組に敵えてゐるときも、それに氣をとられないようにやらなければならぬ。家へ歸つてからも大いに勉強しなければならぬと思ひました。また遊ぶときも、小さな運動場だから自分か

認識に乏しく、昔ながらの悪習を強いてゐる封建的な無理解が問題ではないだろうか。

三、先天的遺傳のこと。こんなことは無理だといつても、今後の問題としてほつておけない。尙且具體的にあげれば、(1)母の栄養が悪い(2)乳幼児をあまじく抱いて(3)虫を多くつけた(4)着物を着過ぎる(5)特にねる時(6)ふとんが重くつけている(7)寢室が暗い(8)離乳がおそい等。

四、對策について。
子どもは健康な環境の中で

育てなければならぬ。第一には健康な家庭環境を作ることである。尙且食には物の環境としての衣食住について、前の要因にあげた非衛生部面を早く取りのぞかなければならぬ。學校教育の部面でも重視して指導すると共に、現實的にはいろいろの方面から積極的な母とより成人教育が急務である。

第二、積極的な健康生活を講ずること。
児童の自主的な保健習慣を形成することに努めると共に、部落別に子供の遊び場

等を設けて、學校の体育とやらんで積極的方法も考へる必要がある。尙且食には特に關心を持ち、適當の方法で早くおすことが大切である。

學校では以上の点に深く留意し、たゞ環境に放任しておくのではなく、子供が進んで環境をしらべ、環境を一つ々々よくするように工夫し、努力していくことを促す様に、今日より一層指導すると共に、學校環境の整理に力を注ぎ、当該児童の体位を早く優位にあげたいと念願してゐる。

謹賀新年

- 議長 廣田重政
副議長 齋喜政治
議員 樋口喜藏
服部安治
井之川三之助
廣田孝一
鈴木順之
山田善信
山田金松
高橋源平
藤ノ木利一
井ノ川三平
大口弥太郎
上原貞策
井ノ川平治
樋口善太郎
山本茂一
小巻沢馨
山田太一郎
鈴木謙吉
大口寅治
(議長 順)
- 國民健康保險
中里村長 渡辺利三
書記 井ノ川友一
保健婦 村山しずな
外職員 桑原しずの

年頭にあたって

金沢真平

新年お目出度う御座います。どうぞ本年もよろしく御願ひいたします。

さて、昨年度の本紙に中里村の新生活運動の要綱を掲載しておきましたが、實は本村公民館が、この火つけ役を買つて出たわけで、この運動があらに燃えあがるよう期待いたして居ります。

私ども國民は敗戦まで長い間、上からの指示命令によつてきたのが、敗戦という現實を轉機として、上か

らの問題は一應食ひの少ないという傾向があると思ひます。それでは眞に民主主義に徹し、自主性、自發性に燃えているかと言つて、これまたなまぬるいものがあります。成程、このたびの新生活運動というものは政府が主唱したものであることはたしかですが、あくまで目ざめた國民大衆の中から自發的に盛り上がり、國民自身の力で、明るく積極的に展開していくところの自主性豊かなものでなければなりません。

我が中里村は、新生間もない村であるので、幾多緊急の施策も山積して居ると思ひますが、目下農閑期でありますので、村民多數の皆さんの御賛同を得て、重点的に強力な實踐運動を展開したいと念願致して居ります。

何卒よろしく御協力を御願ひ申し上げます。

(公民館副館長、兼田澤公民館長)



昭和30年中里村優良乳幼児
向つて右から一位小林豊ちゃん。二位上村洋司ちゃん。三位鈴木正ちゃん。

ればなりません。そして、外面的には衣食住などの生活様式の改善であることも、内面的には國民の生活意識を高め、民主主義を實現していく教育運動で、決して官製のものではなく、皆さんの私製のものであります。たゞ燃え上らせるために、公民館が火をつけただけで、皆さんから勢よく燃やしていただくたいと存じます。

こうした運動は、先ずみずからの生活を見つめ、最も身近な改善すべき点を發見することが最初であろうと思ひます。

我が中里村は、新生間もない村であるので、幾多緊急の施策も山積して居ると思ひますが、目下農閑期でありますので、村民多數の皆さんの御賛同を得て、重点的に強力な實踐運動を展開したいと念願致して居ります。

何卒よろしく御協力を御願ひ申し上げます。

(公民館副館長、兼田澤公民館長)

中里村役場
村長 渡辺利三
助役 滝沢謙治
収入役 広田富左衛門
事務主任 富井喜重
外吏員 一同

中里村教育委員会
委員長 高橋幸作

中里村公民館
副館長 金沢真平
滝沢謙治

村營倉俣診療所
醫師 中村壯平
看護婦 浅井トモイ
樋口ミサオ
書記 桑原政義

農業委員会
主事 板橋龜治
書記 山本茂穂
田沢地区 委員長 広田要吉
副委員長 村山重行
外委員職員 一同

農協組合
組合長 渡辺利三
事務 村山正二郎
外職員 一同

倉俣地区
委員長 齋木政治
副委員長 山田正明
外委員職員 一同

倉俣小學校
校長 高橋寅次
副校長 金沢真平
十高田分校主任 関口義平

連合婦人會
高橋敏子

連合青年會
小柳定夫

田沢婦人會
鈴木トモ

倉俣婦人會
高橋ハル

清津峽婦人會
藤ノ木ケサウ

田沢青年會
小柳定夫

倉俣青年團
鈴木佐十郎

商工會
樋口保太郎

遺族會
大島孝平

田沢郵便局長
清滝勝藏

倉俣郵便局長
高橋毅

田沢駅前
前沢郁三

緑会々長
樋口キイ

桔梗原土地改良理事
廣田要吉

泉養魚所
村田秀吉

事業所
水野千里

食糧事務所
仲林元治

田沢駐在巡査
村木巽

倉俣駐在巡査
山岸正美

田沢地区營林署担当員
小林治太郎

倉俣地区營林署担当員
竹原宏英
(職位不同)